

# 平成 31 年度社会福祉法人正清会事業報告書

法人の基本理念である「尊厳」「敬愛」「和」の具体的な実践のため、平成 31 年度の基本方針を次の4項目として、事業推進に取り組んできました。

- ご利用者・ご家族の思いを理解し、暮らしと生活を支援する取り組みを充実する。
- 各事業の目的に沿った適正かつ公正な運営に努め、持続可能な経営を目指す。
- 人材の確保・育成に努め、定着率の向上を図り、働きやすい職場環境を目指す。
- 社会福祉法人の使命を自覚し、地域社会貢献に努める。

また、重点目標として、

- 法人経営におけるガバナンスの充実強化
  - 「個別ケア」を重視したサービスの充実及び質の向上
  - 人材確保・育成及び定着の取り組み
  - 利用者の安全確保及び防災対策の強化
  - 地域貢献に向けた取り組みと地域との連携
- の5項目の取り組みを進めてきました。

## 【重点目標に対する取り組み】

### 1. 法人経営におけるガバナンスの充実強化

- 1) 毎月定例の経営会議を開催し、法人運営の課題検討や動向についての情報共有を行った。

【構成員】三好理事長、三好常務、三好理事、荒木理事、田中理事、能野苑長(理事)  
松本苑長(理事)、下野総務課長

第 26 回経営会議 平成 31 年 4 月 9 日

協議題: 事業運営、白松苑解体工事関係、非常勤職員の賃金改正、「アクションプラン 2030」

第 27 回経営会議 令和元年 5 月 13 日

協議題: 事業運営、白松苑解体工事関係、決算概要、理事会・評議員会の開催について

第 28 回経営会議 令和元年 6 月 3 日

協議題: 事業運営、非常勤職員の賃金改正

第 29 回経営会議 令和元年 7 月 3 日

協議題: 事業運営、白松苑解体工事関係、人事について

第 30 回経営会議 令和元年 8 月 3 日

協議題: 事業運営、白松苑解体工事関係、介護報酬改定について

第 31 回経営会議 令和元年 9 月 2 日

協議題: 事業運営、白松苑解体工事関係、最低賃金の改訂(給与改定)、

グループホームエアコン修理、旧棟エレベーター修理について

第 32 回経営会議 令和元年 10 月 7 日

協議題: 事業運営、白松苑解体工事関係、跡地の活用、最低賃金の改訂(給与改定)

第 33 回経営会議 令和元年 11 月 7 日

協議題: 事業運営、跡地の活用、隣地の開発について

第 34 回経営会議 令和元年 12 月 3 日

協議題: 事業運営、冬期賞与、1ヶ年点検に伴う追加工事、グループホーム空調設備更新

第 35 回経営会議 令和 2 年 1 月 7 日

協議題: 事業運営、令和2年度事業計画、グループホーム空調設備改修について

第 36 回経営会議 令和 2 年 2 月 3 日

協議題: 事業運営、グループホーム空調設備改修、白松苑跡地の非課税化、  
理事会・評議員会について

第 37 回経営会議 令和 2 年 3 月 2 日

協議題: 事業運営、グループホーム空調設備改修、定期人事異動、新型コロナウイルスの対応  
理事会・評議員会議題の協議

2) 法人の一体的な事業経営を目指し、各事業所が情報共有するとともに、各事業所の機能を法人として総合的に発揮し、サービス提供を円滑にするとともに経営の安定を図ることを目的に事業所管理者定例会議を行った。

第 33 回(平成 31 年 4 月 15 日)、第 34 回(令和元年 5 月 13 日)、第 35 回(令和元年 6 月 13 日)、  
第 36 回(令和元年 7 月 16 日)、第 37 回(令和元年 9 月 16 日)、第 38 回(令和元年 10 月 15 日)  
第 39 回(令和元年 11 月 13 日)、第 40 回(令和元年 12 月 13 日)、第 41 回(令和元年 1 月 14 日)  
第 42 回(令和 2 年 2 月 13 日)、第 43 回(令和 2 年 3 月 13 日)

## 2. 「個」を重視したサービスの充実及び質の向上

- 1) 研修等を通じて法人理念、職業倫理及びコンプライアンスに基づいた職員の業務に対する士気の高揚を図るとともに、利用者・入居者主体のサービスのあり方を浸透し、個別ケアの浸透を図った。
- 2) ケアプランに基づく生活リハビリを行い、利用者・入居者の日常の健康維持に努めた。
- 3) 日々の生活のうらおいと健康維持のため、利用者の嗜好や体調維持を考慮した食事提供を行った。
- 4) 施設・事業所ごとに個別ケア研修等を行い、課題を解決するとともにサービスの質の向上を図った。

## 3. 人材の確保・育成及び定着化の取組

- 1) 教育機関等と連携し、実習終了時や及びHPを活用した求職者の心をつかむ職員募集を推進する。
- 2) 採用後、新任研修を体系的に行い、職員育成に努めた。
- 3) 各種学校等の介護人材養成機関と連携し、実習生の受入れを行った。
- 4) 多様な就労形態の人材確保を図り、職員配置の見直しを行った。
- 5) 求人面接会に積極的に参加し、職員の確保に努めた。
- 6) 外国人技能実習生の受け入れに向けた準備を進めた。

## 4. 利用者の安全確保及び防災対策の強化

### 1) リスクマネジメント対策の強化

- ① リスクマネジメント委員会を定期的開催し、転倒をはじめとする介護事故防止のための研修や検討会を行った。
- ② 利用者の急変時の対応に備えて、職員研修を行った

### 2) 衛生管理の徹底による感染症対策の強化

- ① 褥瘡、尿路感染等の入居者の体調管理を改善するため感染防止委員会を開催して、事例検討会を行った。
- ② インフルエンザやノロウイルス対応の研修会を開催するとともに、流行する前に職員に衛生管理の

徹底を図った。

③新型コロナウイルスの感染を予防するため、面会の制限、来客・出入り業者・職員の検温、マスクの着用等を徹底し、職員の外出の自粛を要請する等、対策を講じた。

3) 火災及び自然災害に対する準備や訓練の強化

①防災委員会により、施設の防災・安全対策について協議検討するとともに、防災訓練や避難訓練、地震想定訓練等を年間を通じて実施した。

## 5. 地域貢献に向けた取組と地域との連携

1) 地区の社会福祉協議会等との連携により、民生委員児童委員の施設見学等を受け入れた。

2) 小中学校や幼稚園等の教育機関からの体験学習やボランティアの受入れ、介護予防出張講座等講師派遣を行った。

3) 山口市地域公益活動推進協議会のに参加し、他の社会福祉法人との連携による地域福祉サービスの推進を図るため、特に山口市南部エリアでの防災に関する協力体制の構築について研究・検討を行った。

## 法人本部

### 1 理事会

1) 日時: 令和元年6月13日 16:00~17:30 場所: 白松苑会議室

理事総数6名、出席者: 理事6名 監事2名

議事 議案第1号 平成30年度事業報告並びに収支決算について

議案第2号 重要な役割を担う職員の選任について

議案第3号 理事及び監事の選任について

議案第4号 定款変更について

議案第5号 職員就業規則の一部改正について

議案第6号 パートタイム職員就業規則の一部改正について

議案第7号 評議員会の開催について

2) 日時: 令和元年6月25日 17:00~17:20 場所: 白松苑役員室

理事総数6名、出席者: 理理事6名 監事2名

協議事項 1 理事長の選任について

3) 日時: 令和2年3月13日 ※新型コロナウイルス感染防止のため、書面決議とする

理事総数6名 監事2名

議案第1号 平成31年度第一次補正予算(案)について

議案第2号 令和2年度事業計画(案)について

議案第3号 令和2年度収支予算(案)について

議案第4号 諸規程・規則の改正について

①経理規程 ②給与規程 ③職員就業規則 ④パートタイム職員就業規則

⑤旅費規程

議案第5号 評議員会の開催について

## 2 評議員会

1)日時:令和元年6月25日 16:00~17:00 場所:白松苑会議室

評議員総数7名、出席者:7名、議長:古谷愛子評議員

議事 議案第1号 平成30年度事業報告並びに収支決算について

議案第2号 重要な役割を担う職員の選任について

議案第3号 理事及び監事の選任について

議案第4号 定款変更について

議案第5号 職員就業規則の一部改正について

議案第6号 パートタイム職員就業規則の一部改正について

報告事項

1)旧白松苑解体工事の進捗状況について

2)多機能ホーム遠波の里白松苑の建物被災事故について

2)日時:令和2年3月13日 ※新型コロナウイルス感染防止のため、書面決議とする

評議員総数7名

報告・協議事項

議案第1号 平成31年度第一次補正予算(案)について

議案第2号 令和2年度事業計画(案)について

議案第3号 令和2年度収支予算(案)について

議案第4号 諸規程・規則の改正について

①経理規程 ②給与規程 ③職員就業規則 ④パートタイム職員就業規則

⑤旅費規程

## 3 旧白松苑解体工事関係

以下のとおり、関係者等と調整し、着実な事業推進に努めた。

第11回工程会議 平成31年4月1日

第12回工程会議 平成31年4月25日

第13回工程会議 令和元年5月9日 工事進捗率 64%

第14回工程会議 令和元年5月23日 工事進捗率 69.7%

第15回工程会議 令和元年6月6日

第16回工程会議 令和元年6月20日

第17回工程会議 平成元年7月4日 工事進捗率 83.31%

第18回工程会議 令和元年7月18日

第19回工程会議 令和元年8月9日

令和元年8月31日 解体工事完了

令和元年9月6日 現場確認・引渡し

## 特別養護老人ホーム白松苑

### 1 事業概要

移転が完了し、ケア体制もユニット型の運用に転換しました。ユニットケアの目的を踏まえた業務の

推進と個別ケアの徹底を目指しました。入居者の希望に添い、健康で安全な暮らしを提供するように、事故防止、褥瘡予防、感染症防止に努めました。施設見学者やボランティアを多数受け入れ、地域に開かれた施設運営に取り組みました。

## 2 主要事業

### 1) 稼働率の向上

①入院者の状況を病院と連携しながら予測し、入院者空きベッドをショートステイに活用するなど、稼働率の向上に取り組んだ。

### 2) ユニットケア(個別ケア)の充実

①やさしさと思いやりを持ち、笑顔で入居者、職員と接するよう努めた。

②ケアプランや24時間シートを用いて、個別ケアの実践に努めた。

③記録システムにおける「情報の一元化と共有」を図り、記録の効率化に努めた。

④食を通じて昔を懐かしんでもらえるような利用者の嗜好にそった食事を提供した。

### 3) 職員のケアに対する意識改革、業務の見直し・改善

①施設理念を改め、職員一人ひとりが仕事の意義を認識し、やりがいと誇りの持てる職場環境づくりに努めた。

②誰にでも分かりやすい業務マニュアルや業務の「見える化」により業務の標準化を推進した。

③各研修や会議等を通じて、全職員が理念(法人理念、福祉の理念、ユニットケアの理念)とケアのあり方を理解するよう努めた。

④新任研修等を通じ職業倫理やコンプライアンスの周知・徹底を図った。

⑤リーダー会議、ユニット会議等会議のを定例化し、情報の共有を図った

⑥安全・衛生管理(整理、整頓、清潔、清掃)に努めた。

## 3 介護保険事業の実績

( )は前年度

	入所定員	稼働率 %	平均要介護度	年間利用人員(延べ)
正規入居者	100	91.2 (91.6)	3.85 (3.79)	33,382 (33,762)
短期入所	20	90.3 (95.9)	2.58 (2.33)	6,605 (6,464)
利用者総数	120	91.1 (92.2)	3.62 (3.56)	39,987 (40,226)

## 4 事故発生の状況

平成 31 年度 209 件 平成 30 年度 311 件 増減 ▲102 件

事故種別	転倒	異食	誤嚥	誤薬	表皮剥離	その他	計
平成 31 年度	42	4	4	35	49	75	209
平成 30 年度	54	20	3	36	83	115	311
増 減	▲12	▲16	1	▲1	▲34	▲40	▲102

※その他:しりもち、転落、ずり落ち等

## 5 季節の行事等

実施時期	内 容
4月	花見
5月	母の日行事(各ユニットで実施)、十七夜祭
6月	父の日行事(各ユニットで実施)
7月	七夕(短冊づくり)
8月	地藏尊大祭
9月	阿知須地区敬老会、敬老の日式典・各ユニットで演芸 ワールドドリームサーカス山口公演観覧
10月	ワールドドリームサーカス山口公演観覧
11月	阿知須文化祭参加、あじすふれあい祭り参加
12月	クリスマス会、もちつき
1月	お正月お祝い膳
2月	節分行事
3月	ひな祭り行事

## 6 定例的又は随時行われる娯楽等

- |                    |              |
|--------------------|--------------|
| (1) 誕生会の開催(おやつづくり) | 毎月(各ユニットで実施) |
| (2) 苑内ショッピング       | 毎週(水曜日)      |
| (3) 一般買い物          | 必要の都度随時      |
| (4) ミニ喫茶           | 毎日 午前午後      |
| (5) むり絵・ちぎり絵       | 希望時 随時       |
| (6) 習字クラブ(個別対応)    | 希望時 随時       |

## 7 ボランティア等による舞踏等

実施時期	内 容
4月	コスモス邦楽演奏(松本・岡本様)
5月	十七夜祭踊山
7月	コスモス邦楽演奏(松本・岡本様)、琴凌流凌香会阿知須教室
8月	ハンドベルコンサート
9月	邦楽ボランティア演奏(松本・岡本様)
10月	井関小ふれあい金管バンド、おんちクラブ
11月	対話・ふれあい(阿知須小学校)、歌&書道ライブ(友近 890) 邦楽ボランティア演奏(松本・岡本様)
12月	コスモス邦楽演奏(松本・岡本様)、ふれあい(阿知須幼稚園)

※阿知須幼稚園訪問 偶数月(お誕生会に参加し、利用者の手づくりカレンダーを手渡す)

## 8 健康・衛生に関する事業

実施時期	内 容
4月～5月	職員の定期健康診断(夜勤者・腰痛検診5月)
11月～3月	職員の定期健康診断(全員・腰痛検診)
11月～12月	入苑者・職員 インフルエンザ予防接種

毎週 月・金	医師による回診
毎月1回	精神科医による回診
毎月1回	衛生委員会及び産業医による巡回指導
随 時	口腔ケア及び指導
毎月2回	訪問散髪(きらら、ゆうとぴあ)
毎月1回	厨房職員検便(6月～10月は月2回)
毎月1回	ゴキブリ駆除(厨房 12 回、居室その他年2回)
入居者入居時	入居時健康診断
入苑者誕生月	入居者定期健康診断(レントゲン 11 月)

## 9 御家族との連携に関するもの

白松苑だよりの送付

## 10 地域交流に関する事業

### (1) ボランティアの受け入れ

名 称	実 績	延人数 (前年度)
佐山蟻の会	年間 3 回	13 (23)
ともしびの会	年間 8 回	52 (49)
ミントの会	年間 6 回	34 (12)

### (2) 給食サービス

221 食(前年度 451 食)一日平均 0.92 食(月～金)

### (3) 山口市いきいき百歳体操出張指導

月 日	地 区	主 催	参加者	指導者
4 月 10 日	阿知須	西条ゆうゆう会	8 名	看護職員、介護職員
7 月 31 日	阿知須	西条ゆうゆう会	8 名	看護職員、介護職員
11 月 19 日	阿知須	飛石百歳体操グループ	8 名	看護職員、介護職員

### (4) 介護予防出張講座

月 日	地 区	主 催	参加者	講師
5 月 10 日	秋穂	あうんの会	8 名	介護職員

## 11 実習生等の受け入れ

実 習 種 別	学 校	実人数	延人数
社会福祉士	YIC 看護福祉専門学校	1	23
介護福祉士	中村女子高等学校	5	53
	YIC 看護福祉専門学校	3	49
介護労働講習	介護労働安定センター	2	6
栄養士	山口県立大学	2	24
合 計		13	155

## 12 体験学習

- ・阿知須中学校2年生職場体験学習 5 名 5 月 8 日・9 日
- ・阿知須小学校5年生施設見学 90 名 10 月 25 日

・阿知須小学校5年生施設体験学習	55名	12月6日、9日
・山大医学部学生体験学習	6名	7月2日、9日
・市町職員福祉施設体験学習	40名	10月10日・17日・30日
・教職員免許 介護等の体験	2名	10月28日～11月1日

### 13 建物補修及び設備・機器の更新等

喫煙所設置(明德木工)	280,800円
介護記録システム新元号対応改修(常盤商会)	194,400円
既存棟エレベーター修理・部品交換(日立エレベーター)	273,020円
IH炊飯ジャー(フジマック)	142,616円

## 白松苑デイサービスセンター

### 1 事業概要

IADL(手段的日常活動動作)を意識し、洗濯や簡単な調理を通して、身体を動かす機会を多く持ち、やりがいを感じて役割を持ってもらえるような働きかけを行いました。

また、「介護予防・日常生活支援総合事業」に対応すべく、地域を基盤とした高齢者の自立支援のため総合的な取組として、日々のアクティビティのメニューを増やし、自主的に選択できるようにすることで個別化を図り、非日常的な行事を取り入れ、認知面への働きかけも積極的に行いました。

誕生会や季節ごとの行事、ボランティアとの交流等の御案内をすることなどに努め、利用者からも大変喜ばれ、利用促進の向上にもつながりました。

体験利用を希望される方は積極的に受け入れ新規利用に繋がるよう努めました。

移転に伴う環境の変化への対応に気を配り、利用者一人ひとりが満足するよう心掛けました。

また、利用中快適に過ごしていただくため、エアコン噴出し部にハイブリッドファンを設置いたしました。

### 2 主要事業

#### 1) 在宅生活の継続を念頭にした、援助内容の見直しと質の高い個別ケア・機能訓練の実践

- ① 個別対応の強化として、ADLに合わせた制作活動、歩行訓練を兼ねた散歩等サービス利用への柔軟な対応に努めた。
- ② 家族、ケアマネジャー、関係者との緊密な情報共有を図ることで、徹底した個別ケアや機能訓練を展開した。
- ③ 外部研修や内部研修・職員定例会議を通して、利用者にあったケアの習得・質の高いサービスの提供に心がけた。

#### 2) 職員の接客力、チームワーク、モチベーションの向上

- ① 内部研修や外部研修を通して、利用者に対する配慮やもてなし、気配りなどの接客力の向上に努めた。

#### 3) 利用者の満足度のアップと稼働率の増加に向けた対策

- ① 非日常的なプログラムの展開を充実させることで、稼働率の向上に努めた。



### 3 介護保険事業の実績

( )は前年度

利用定員	稼働率%	平均要介護度	営業日数 308 日 一日平均利用者 22.4(24.2) 体験 20 名
30	74.4 (70.7)	1.70 (1.47)	

### 4 事故の発生状況(件数)

平成 31 年度 6 件 平成 30 年度 2 件 増減 4

事故種別	転倒	異食	誤嚥	誤薬	表皮剥離	その他	計
平成 31 年度	2	0	0	0	0	4	6
平成 30 年度	1	0	0	0	0	1	2
増 減	1	0	0	0	0	3	4

※その他:しりもち、転落、ずり落ち等

### 5 季節の行事等

実施時期	内 容
4月	花見(桜)
11月	文化祭作品出展・見学
12月	クリスマス会
1月	初詣、初釜(新年を祝う会)
2月	節分

### 6 ボランティア等による舞踏等

実施時期	内 容
4月	邦楽ボランティア
7月	邦楽ボランティア
8月	ハンドベルコンサート
9月	邦楽ボランティア
10月	井関小金管バンド、おんちクラブ
11月	歌&書道ライブ(友近 890)、邦楽ボランティア
12月	阿知須小 5 年施設体験、阿知須幼稚園児来苑

### 7 実習生等の受入れ

実 習 種 別	学 校	実人数	延人数
介護等体験	京都女子大学	1	5
介護福祉士	中村女子高等学校	3	9
介護労働講習	介護労働安定センター	2	4
合 計		6	18

### 8 建物補修及び設備・機器の更新等

ハンドレール付体重計(海井医科器械)	132,000 円
--------------------	-----------

## グループホーム白松苑

### 1 事業概要

『一人ひとりの思いを把握し、穏やかで楽しく生活していただくよう寄り添う介護に努める』を基本方針に、「その人らしい暮らしを支える」、「家族のように共に生活する。」、「地域の方とふれあいを持つ」という事業所理念のもと、地域と一体的なグループホームを目指すことに取り組みました。

### 2 主要事業

#### 1) 稼働率の目標 100%(定員 18 名)

①入院等で 100%には届かなかったが、早期の入居調整などに取り組み、前年度を上回る稼働率となった。

#### 2) 単独事業所としての機能強化を図った。

①特養の移転に伴い事業所が単独化したことから、法人内の事務及び業者との手続き変更や効率化などを行った。

#### 3) 認知症ケアとして“寄り添いのケア”による質の高いサービス提供を行った。

①生け花・レクリエーション・カラオケ、食事時間や場所の調整、居室の設え、衣類の選択などの個別対応を強化した。

②一人ひとりの症状への対応をはじめ、毎月認知症について職員勉強会を開催した。

#### 4) 運営推進会議の充実を図るとともに、地域との密接な関わりにより、地域に溶け込んだ環境づくりを進めた。

①地域も含めた緊急連絡網の作成や防災訓練を併せて実施するなど、内容の充実に取り組んだ。

②自治会の夏祭りや溝普請等地域の行事に参加した。また地域のいきいきサロンを事業所内で実施したり、焼き芋会を地域と共同で開催するなど、地域に溶け込んだ活動に努めた。

③阿知須地域において行われるイベントへ積極的に参加、阿知須幼稚園、阿知須小学校など社会資源との交流に努めた。

### 3 介護保険事業の実績

( )は前年度

入所定員	稼働率(%)	平均要介護度	年間利用人員(延べ)
18	98.4 (98.3)	2.33 (2.14)	6,481 (6,458)

### 4 事故の発生状況

平成 31 年度 54 件 平成 30 年 27 件 増減 27

事故種別	転倒	異食	誤嚥	誤薬	表皮剥離	その他	計
平成 31 年度	34	1	0	6	1	12	54
平成 30 年度	14	0	0	0	3	10	27
増 減	20	1	0	6	△2	2	27

※その他:しりもち、転落、ずり落ち等

### 5 季節の行事等

実施時期	内 容
4 月	花見(桜・芝桜)、桜餅作り

5月	バラ見学(宇部空港)、河原谷公園散策、ゴテチア・菖蒲見学(車地)、母の日、阿知須幼稚園訪問、かしわもち作り
6月	十七夜祭、蛍見学、ゴテチア・菖蒲見学(車地)、写真展見学、七夕飾り作り、防災訓練、誕生会
7月	七夕、花壇の水やり(阿知須小学校)、沖の原夏祭り参加、ホットケーキ作り、誕生日会
8月	阿知須庁舎メモリアルフェスティバル、花壇の水やり(阿知須小学校)、ソーメン流し、うちわ作り、葡萄狩り、道の駅散策、誕生会
9月	十五夜、敬老会、阿知須幼稚園訪問、北方八幡宮秋季例祭参加、誕生会
10月	干支(ねずみ)粘土細工作り、誕生会
11月	阿知須文化祭、地域との焼き芋会、阿知須幼稚園訪問、ふれあい祭参加、誕生会
12月	しめ縄づくり、餅つき、クリスマス会、柚子湯、かんぴょう作り、防災訓練
1月	おせち料理、初詣、七草粥、小正月フェスタ(どんど焼き)、童謡・唱歌を楽しく歌う集い、阿知須幼稚園訪問、誕生会
2月	節分(豆まき)、ひなもん祭り、童謡・唱歌を楽しく歌う集い、誕生会
3月	防災訓練、誕生会 ※新型コロナウイルスのため外出自粛

## 6 運営推進会議

月 日	出席者数	協議内容
4月17日	8人	活動報告、意見交換、桜餅作り
6月12日	7人	活動報告、意見交換、防災訓練
8月21日	6人	活動報告、意見交換、うちわ作り
10月23日	8人	活動報告、意見交換、干支(ねずみ)粘土細工
12月25日	8人	活動報告、意見交換、餅つき
2月26日	6人	活動報告、意見交換

## 7 ボランティア等による舞踏等

実施時期	内 容
5月	いきいきサロン、邦楽(コスモス)
6月	夢の劇団
7月	邦楽(コスモス)
9月	邦楽(コスモス)、賀宝燦翔隊
10月	いきいきサロン
12月	邦楽(コスモス)
2月	邦楽(コスモス)

※阿知須幼稚園訪問 奇数月(お誕生会に参加し、利用者の手づくりカレンダーを手渡す)

## 8 実習生等の受入れ

実習種別	学 校	実人数	延人数
介護福祉士	山口芸術短期大学	2	10
	YIC 看護福祉専門学校	1	3
合 計		3	13

## 9 建物補修及び設備・機器の更新等

換気扇修理(岡村電器)	248,378 円
カラオケ修理(東映コミュニケーションズ)	108,000 円
介護用ベッド(日本基準寝具)	119,550 円
エアコン修理(三冷社)	259,200 円
エアコン修理(三冷社)	108,000 円
エアコン修理(三冷社)	324,000 円
エアコン更新(三冷社)	13,200,000 円

## 白松苑居宅介護支援事業所

### 1 事業概要

『自立支援のためのきめ細やかな相談対応』を目標に、利用者一人ひとりの意向を尊重することで、安心と安全のある自宅生活が継続できるサービスを、また、ご家族にとっては介護負担の軽減を図ることのできる介護支援サービスを実施してきました。施設入所や長期入院を余儀なくされた利用者もおられました、利用者が自宅において少しでも自立できるようなサービスの取り組みを行うことができました。

また、地域包括支援センターや他の居宅サービス事業所と研修や事例検討等を通して、緊密な連携を図ることに心がけ、利用者にとって総合的かつ効率的なサービス提供に役立てました。

### 2 主要事業

#### 1) 利用者の自立支援と満足度の向上

- ①積極的に研修に参加するとともに、マネジメント力の向上に努めた。
- ②ケアマネジャー2人体制で支援を行い、事業所内での話し合いや他事業所との連携を図り、利用者の自立支援と満足度の向上のための介護サービスとインフォーマルな支援の提供を行った。

#### 2) 関係機関との密接な連携による迅速な対応

- ①地域包括支援センターとの連携を密にし、利用者だけでなくその同居家族に対しても支援していく体制を図った。
- ②各種居宅サービス事業所、医療機関及び他の関係機関との連携により、利用者の状態把握を適確に行い、リアルタイムにサービスが提供できるよう努めた。

#### 3) 専門的知識及び技術の習得・向上

- ①定例の居宅支援部会、事例検討会、神経内科セミナー、主任介護支援専門員更新研修受講のための要綱研修等への参加を通して、専門的知識及び技術の習得・向上に努めた。

### 3 事業実績(訪問回数)

年度	年間		月平均	年間		年間計	月平均	
31年度	要介護	680人	56.6人	要支援	12人	1人	692人	57.6人
30年度		932人	77.6人		12人	1人	944人	78.6人

## 賀宝の里白松苑

### 1 事業概要

昨年度に引き続き、ユニットケアの実践における強化を図りました。特に設えの面では、各ユニットは「家」、共有空間は「街」というユニットケアの理念をコンセプトとし、できるだけ近づけるように工夫を凝らしながら改善を図りました。

また、組織体制の強化として、各種委員会での役割や共有空間に対する担当者の責務などを明確に示すことで、各委員や担当者の意識付けを図るなどの取組みを行いました。

設備関係においては、様々な設備に対する維持管理の必要性も高くなってきていることから、各種節約に努めながら補修を行いました。

### 2 主要事業

#### 1) ユニットリーダー研修実地研修における受講者の受入れ

実地研修施設として、Ⅰ期13名、Ⅲ期12名の受講者の受入れを実施。

#### 2) ユニットケアを実践していくうえでの職員資質の向上

ケアの見直し、質の高いケアの提供を目指し、「ユニットケアの実践」を作成(未完)し、具体的な援助のあり方の理解と徹底を図った。

また、各ユニット会議において、毎月、ミニ勉強会を実施し、Q&Aの徹底理解を図った。

#### 3) 共有空間における設えのバージョンアップ

共有空間を、街の中にある「ピアノホール」「喫茶店」「ギャラリー」「銭湯」「2階連絡通路」として、それぞれできるだけ現実に近い形で設えていくようにした。

#### 4) 内部研修のあり方の見直し

従来通りの会議室における研修会開催といったやり方を止め、PCを使って各自が研修資料を確認し、職員全員が所見を提出するといったやり方に変更した。

#### 5) 地域貢献活動の取り組み

例年と同じく、自治会活動や地域行事に積極的に参加。

#### 6) 防災避難訓練の充実化

情報伝達訓練及び避難訓練をテレビ放映を通じて実施。また、地域主催の合同訓練にも参加。

#### 7) 介護人材不足に対する取組み

介護職員の人材不足を補うための対策として、調理職員におけるユニット内での食器洗浄等を業務の一部とし、介護職員の業務軽減を図る試みを行った。

### 3 介護保険事業の実績

( )は前年度

	入居定員	稼働率 %	平均要介護度	年間利用人員(延べ)
正規入居者	30	93.7 (96.4)	3.93 (3.87)	10,292 (10,555)
短期入所	7	100.2 (98.0)	2.37 (2.06)	2,566 (2,505)
利用者総数	37	94.9 (96.7)	3.62 (3.53)	12,858 (13,060)

#### 4 事故の発生状況

平成 31 年度 101 件 平成 30 年度 32 件 増減 69 件

事故種別	転倒	異食	誤嚥	誤薬	表皮剥離	その他	計
平成 31 年度	34	1	1	1	10	54	101
平成 30 年度	9	1	0	3	8	11	32
増 減	25	0	1	▲2	2	43	69

※その他:しりもち、転落、ずり落ち等

#### 5 季節行事及び定例・随時行事

実施時期	内 容
4月	花見、花まつり
5月	母の日行事 各ユニットで実施 河内神社春祭り参加
6月	父の日行事 各ユニットで実施
7月	七夕行事 各ユニットで実施
8月	賀宝花火のゆうべ(夏祭り) 佐山地区盆踊り参加、JAそうめん流し参加
9月	賀宝敬老会 佐山地区敬老会参加、佐山地区防災訓練参加
11月	佐山地区ふるさとまつり参加・文化祭作品出品、川西地区収穫祭参加
12月	もちつき・たこあげの会 阿知須幼稚園交流会 佐山地区駅伝大会参加(入居者応援)
1月	お正月お祝い膳 佐山地区七草がゆ交流会参加
2月	節分(豆まき)各ユニットにて実施 阿知須ひなもん祭り参加
3月	ひなまつり各ユニットで実施

#### 6 定例的又は随時行う娯楽等

- (1) 苑内ショッピング 毎週(金曜日)
- (2) 買い物(かがほショップ) 随時
- (3) ミニ喫茶 毎日(午前・午後)
- (4) 歌の会 隔月1回
- (5) おやつづくり 随時
- (6) 詩吟教室 毎月1回 \*ボランティア対応
- (7) 茶道の会 毎月1回 \*ボランティア対応
- (8) 習字教室 隔月1回 \*ボランティア対応
- (9) 各種サークル活動 毎週1回 \*生け花、映画鑑賞会、カラオケ、ハンドメイド

## 7 ボランティア等による鑑賞

実施時期	内 容
4月	・花まつり(教證寺住職・仏教婦人会)
5月	・ギター演奏(おじさんズ) ・歌おう会(コスモス)
6月	・フラダンス・銭太鼓(佐山健康銭太鼓)
7月	・歌おう会(コスモス)
8月	・サンバ(JA山口中央)
9月	・歌おう会(コスモス) ・スコップ三味線・腹話術、手品(敬老会での催し)
11月	・ギター演奏(おじさんズ) ・歌おう会(コスモス)
12月	・フラダンス・銭太鼓(佐山健康銭太鼓) ・もちつき・凧づくり・凧上げ教室(地域有志)
1月	・歌おう会(コスモス)

## 8 健康・衛生に関すること

実施時期	内 容
4月～5月	職員の定期健康診断(夜勤者・腰痛検診5月)
5月	入居者定期健康診断(結核)
10月～11月	インフルエンザ予防接種(入居者、職員)
11月～3月	職員の定期健康診断(全員、腰痛健診)
毎週水曜日	配置医師による回診
毎月1回(第2土)	精神科医(片倉 HP)による回診
毎月1回(第3木)	皮膚科による往診
毎月2回	歯科医師又は歯科衛生士による口腔ケア及び指導
毎月1回	訪問理美容
毎月1回 (6月～9月は月2回)	厨房職員検便
毎月1回	ゴキブリ駆除(厨房12回、居室その他年2回)
毎月1回	害虫駆除(厨房:小蠅 /外周:ムカデ)
入居者の入居前	入居前健康診断
入居者の誕生月	入居者健康診断

## 9 ご家族との連携に関すること

- 1) 広報誌「かがほの風」及び「相談員だより」: 毎月発行・送付
- 2) ケアプラン立案・カンファレンス等における家族参加: 6カ月ごと

## 10 地域交流に関すること

### 1) ボランティアの受け入れ

名 称	実 績	延人数 (前年度)
詩吟教室	不定期 2回	20(17)
茶道教室	毎月 1回	18(18)
習字教室(さやま蟻の会)	隔月 1回	22(17)

清掃作業(仏教婦人会)	毎年 1回	21(19)
-------------	-------	--------

## 2) 自治会活動参加

名 称	実 績	延人数(前年度)
河内神社春祭り(出店手伝い)	年間 1回	3 ( 3)
出口溜池管理道・公園等の草刈清掃	年間 2回	4 ( 6)
佐山地区溝普請 (2回目は雨天中止)	年間 1回	3 ( 6)
お薬師様接待・盆踊り会場設営、後片付け	年間 1回	1 ( 1)
地域合同自主防災訓練・炊き出し参加	隔年 1回	3 ( 0)
佐山地区ふるさとまつり実行委員会出席	年間 1回	1 ( 0)
自治会総会・役員会・班長会議への出席	年間 7回	7 ( 7)

## 3) 介護予防出張講座

日時	テーマ	地区	主 催	参加者	講 師
9/ 9	高齢者の健康管理	秋穂東	和作の広場を守る会	25 人	介護福祉士
9/20	関節症の方の生活の工夫	小郡	介護者家族の会	8 人	介護福祉士
9/27	生活習慣病予防を知る・予防する	小郡	よつばの会	22 人	管理栄養士
10/25	生活習慣病予防を知る・予防する	小郡	母子寡婦福祉連合会	8 人	管理栄養士
2/21	転倒骨折予防について	名田島	昭和ふれあいサロン	13 人	介護福祉士

## 11 実習生等の受け入れ

実 習 種 別	実 習 機 関	実人数	延人数
ユニットリーダー研修	日本ユニットケア推進センター	26 人	104 人

## 12 体験学習

- ・川西中学校職場体験学習 3名(5月8日～9日)
- ・山口県身体拘束ゼロ推進員養成研修 15名(9月10日)
- ・佐山小学校4年生総合学習 11名(12月18日)\*生徒のインフルエンザにて中止

## 13 施設見学受け入れ

- ・なし

## 14 施設維持補修等

調理器具(コンビオープン)の取替え	1,080,000 円
居室用エアコンの取付及び取替え工事(オンダ空調)	67,000 円
ベッドキャスター取替え3台分(海井医科器械)	52,920 円
特浴パッキン取替え及びリフト浴漏電ブレーカー取替え(酒井医療)	107,028 円
非常照明蓄電池取替え 6ヶ所(三栄商事)	133,920 円
ユニットトイレ介助バー取替え(エコール)	168,300 円
合併浄化槽原水・排水ポンプ交換及び基盤制御タイマー交換(山口公衆衛生協会)	375,980 円
ユニット汚物槽取替え(高砂工務店)	198,000 円



## 賀宝の里白松苑デイサービスセンター

### 1 事業概要

法人理念を基にしたデイサービスセンターとしての理念(「自宅での暮らしの継続」)を明確化し、理念に基づいたサービス提供、ケアのあり方を目指しました。また平均介護度を意識しながら新規利用者の獲得に務めました。年間 16 名の新規利用のうち、通所介護事業対象者の割合が多い状況となりました。

4月から7月にかけて入院・入所の方が多く、稼働率はかなり低迷したが、地域包括支援センターや居宅介護支援事業者に対して、積極的な体験利用の働きかけや利用予定のキャンセルに対する補完的利用に向けた連絡調整などの取組みも行い、稼働率の維持を図りました。日常生活支援総合事業においては、昨年度に引き続き、体と脳の機能アップ教室に対して創意工夫を凝らしました。

### 2 主要事業

#### 1) 平均介護度のアップを見据えた新規利用者の獲得及び安定した稼働率の維持

- ①平均介護度を意識し、地域包括支援センターよりも居宅介護支援事業所を重点的にアプローチを行った。19名の体験利用のうち、16名が新規利用に繋がった。内訳としては通所介護事業対象の割合が日常生活支援総合事業対象者を上回ったものの、年間の平均介護度からすると、昨年度より下回った結果となった。稼働率においては昨年度とほぼ同じだった。
- ②アクティビティを強化し、利用者個々のニーズに応じた形で実施するよう取組み、利用者の満足度のアップに努め、稼働率の維持を図った。
- ③利用予定者のキャンセルに伴い、その補完として他の利用者の臨時的な追加利用を促し、稼働率の維持・向上に努めた。

#### 2) 在宅生活の維持を見据えた個別ケアの実践

- ①「体と脳の機能アップ教室」においては、利用者の声を聴きながら、常に新しいプログラムの導入を意識しながら実践した。
- ②機能訓練においては、個々のADLの状態に応じた内容のプログラムを実践した。

#### 3) 運営推進会議の充実

- ①年2回(6月・1月)実施。デイサービスの現状、事業実績を報告。また、地域関係の話題、地域包括支援センターの役割などについての意見交換が行われた。
- ②6月においては地域における防災対策の一環として、「自助の大切さ、事前にやるべきこと」をテーマに講習会を実施し、防災に対する意識を深めることができた。

### 3 介護保険事業の実績

( )は前年度

利用定員	稼働率%	平均要介護度	営業日数:309日(308日) 延べ利用者数:4,619人(4,654人) 一日平均利用者:14.9(15.1)
18 (18)	83.0 (83.9)	1.40 (1.51)	

### 4 事故の発生状況(件数)

平成 31 年度 12 件    平成 30 年度 3 件    増減 9 件

事故種別	転倒	異食	誤嚥	誤薬	表皮剥離	その他	計
平成 31 年度	4	0	0	2	0	6	12
平成 30 年度	1	0	0	0	0	2	3
増減	3	0	0	2	0	4	9

※その他:しりもち、転落、ずり落ち、無断外出等

## 5 季節行事及び定例・随時行事

時期	内 容
4月	花見、花まつり、おやつ作り(よもぎ餅)
5月	母の日行事(手作りおやつによるおもてなし)
6月	父の日行事(手作りおやつによるおもてなし)、ブルーベリー収穫
7月	七夕飾り作り、おやつ作り(枝豆アイス、マフィン)
8月	たこ焼きパーティー、ソーメン流し、夏祭り
9月	敬老会、おやつ作り(月見団子)、焼きそば作り
10月	手打ちうどん作り
11月	文化祭作品づくり、ケーキ作り
12月	クリスマス会、もちつき・凧あげの会
1月	新年会、おやつ作り(いちご大福)
2月	節分(豆まき)、バレンタインデー
3月	ひなまつり、饅頭づくり

\* 毎月、誕生日会(ケーキ作り・プレゼント贈呈)を実施。

## 6 地域交流に関すること

### 1) ボランティアの受け入れ

名 称	実 績	延人数 (前年度)
音楽教室(個人)	毎月 1回	10 (12)
傾聴・話相手(みみの会)	毎月1~2回	39 (26)

### 2) 運営推進会議

開催時期	出席者数	主な会議の内容
6月27日	7人	山口県防災士会による防災対策についての講習会の実施
1月28日	7人	現状報告、主な事業実績、その他意見交換

## 7 実習生受け入れ

実習種別	学 校	実人数	延人数
なし			

## 8 体験学習

- ・川西中学校職場体験学習 3名(5月8日~9日)
- ・山口県身体拘束ゼロ推進員養成研修 15名(9月10日)
- ・佐山小学校4年生総合学習 11名(12月18日)\*生徒のインフルエンザにて中止

## 9 その他

- ・介護相談員による相談(2名来所)(10月11日)
- ・他事業所への自主実地研修  
日 程:8月1日(2名)、8月8日(1名)、8月9日(2名)  
研修先:一の坂川デイサービスセンター  
内 容:見学及び実務研修

## 多機能ホーム遠波の里白松苑

### 1 事業概要

「家庭や地域での心豊かな生活を支える」を目標に、地域密着型介護サービスの制度の趣旨に基づき、利用者が家庭や地域で普段と変わらない心豊かな日々の暮らしを維持していく為のサービスを、「通い」「訪問」「泊まり」の機能を活用して提供しました。

### 2 主要事業

1)住み慣れた地域、住み慣れた環境の中での生活の維持を念頭にした、援助内容の見直しと実践

- ① 1人ひとりの状況に合わせ、その時々に応じ家族や職員間で協議し臨機応変に対応し在宅生活の継続に努めた。
- ② 家族、地域住民、事業関係者と緊密な情報提供を図りきめ細かいサービスの提供に努めた。また、納涼会を開催し家族、地域住民との交流や忌憚のない意見を頂く事が出来た
- ③ 利用者と職員間のプライバシー確保に努めた。  
利用者の方と同じ空間にいる事が多いので、声のボリュームや言葉の使い方、相手に対しての配慮に努めた。

2)地域貢献への取り組み

- ① 運営推進会議を充実させる事で地域に開かれた施設運営に努めた  
推進委員との意見交換や情報交換、防火訓練を通じ地域との連携を図る事が出来た。
- ② 地域・自治会の清掃活動や祭り等に協力、参加をしました。
- ③ 研修・見学受け入れ  
職員が地域に出向いたり研修発表、TVの取材を通じ小規模多機能居宅介護、介護職に対する理解と遠波の里をアピールすることが出来た。  
4月22日 佐山鳩岡ポッポの会 お菓子づくり  
8月30日 中国地区老人福祉施設研修大会 分科会発表  
12月9日 介護職員のやりがいについて ケーブルテレビ取材

3)地域への施設機能の提供

自治会活動・地域行事に協力、参加し地域との交流を図った。  
また、ボランティアを活用し地域住民に向けて月1回催し物を開催し参加を呼びかける事で地域住民に理解され足を運んで頂けるように努めた。

### 3 介護保険事業の実績（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日あたり
登録	22	22	22	23	24	25	25	25	25	23	24	24	284	23.6
通い	388	402	389	410	428	407	438	405	397	383	381	411	4,834	13.4
泊り	219	227	219	222	225	223	228	221	212	214	230	251	2,691	6.9
訪問	119	125	121	124	142	132	142	147	162	135	114	122	1,585	4.4
介護度	1.3	1.3	1.3	1.0	1.3	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.3	1.3		1.15
稼働率	88	88	88	92	96	100	100	100	100	92	96	96		94.6

### 4 季節の行事

実施時期	内 容
4月	花見・観音様接待・足湯

5月	習字・母の日行事・空港バラ見学
6月	菖蒲紫陽花見学・父の日の行事・オカリナ演奏
7月	七夕見学・健康体操・尺八、ピアノ演奏
8月	JA 流しそうめん・観音様接待・遠波の里納涼会
9月	折り紙・お月見会・敬老会・マジックショー
10月	コスモス見学・遠波の里運動会・フラダンス、民謡
11月	佐山文化祭・ふれあい祭り・紅葉がり
12月	佐山小音楽会・クリスマス会・しめ縄作り
1月	初詣・七草粥・習字・お茶会
2月	ひなもん見学・節分・バレンタインディー
3月	ひな祭り・北向き地藏参拝・菜の花見学

## 5 運営推進会議

月 日	参加人数	内 容
5月27日	11人	老施協研修発表と報告
7月22日	9人	熱中症対策について
9月24日	10人	防火訓練
11月26日	9人	外部評価
1月27日	12人	外部評価総括・お茶会
3月23日	0人	コロナウイルス感染防止の為、中止する